第２回策定委員会における質問事項回答

当日資料１

１　元気で悠々ライフを共創できるまちに

１　「人生８５年時代」の健康づくり

（１）健康でいきいきとした生涯を送るための支援

　Ｐ２７■成人保健・精神保健（各年度の参加延べ人数）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 |
| 健康教室 | 5,833 | 5,139 | 6,159 |
| 健康相談 | 436 | 505 | 782 |
| 家庭訪問 | 78 | 58 | 27 |
|  | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
| 健康教室 | 6,195 | 7,322 | 6,216 |
| 健康相談 | 678 | 338 | 285 |
| 家庭訪問 | 29 | 15 | 5 |

　Ｑ：家庭訪問の件数が年々減っているのはなぜか。

　Ａ：健康・精神状態により訪問指導が必要な方については、保健センターの保健師が訪問を行っていましたが、高齢者については、高齢者相談センターの相談窓口としての機能が充実し、高齢者から相談があり、必要があれば訪問を行うようになり、また障害者については障害者相談支援事業所が置かれ、訪問も実施するようになったことで、保健センターですべて行っていた訪問が、他の相談機能に移行したことによるものです。